

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2012-192108

(P2012-192108A)

(43) 公開日 平成24年10月11日(2012. 10. 11)

(51) Int.Cl.

A 4 7 K 1/00 (2006.01)

F 1

A 4 7 K 1/00

テーマコード (参考)

B

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 13 頁)

(21) 出願番号 特願2011-60038 (P2011-60038)
 (22) 出願日 平成23年3月18日 (2011. 3. 18)

(71) 出願人 307042385
 ミサワホーム株式会社
 東京都新宿区西新宿二丁目4番1号
 (74) 代理人 100090033
 弁理士 荒船 博司
 (72) 発明者 松前 祐一
 東京都杉並区高井戸東2丁目4番5号 ミ
 サワホーム株式会社内
 (72) 発明者 松田 祐明
 東京都杉並区高井戸東2丁目4番5号 ミ
 サワホーム株式会社内

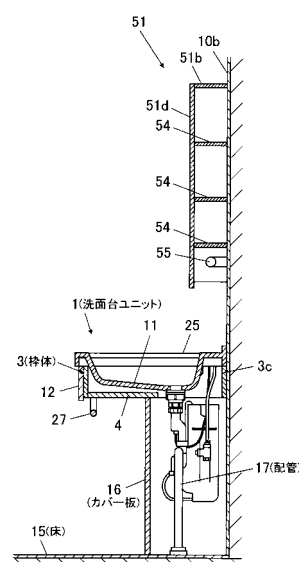
(54) 【発明の名称】 洗面台ユニットの支持構造

(57) 【要約】

【課題】 洗面台を支持する部材によって洗面台の幅を小さくすることなく、かつ、洗面ボールに接続する配管を洗面台の正面から見えないように隠すことができる洗面台ユニットの支持構造を提供する。

【解決手段】 洗面台ユニット1を構成する枠体3が壁10に固定され、床15に立設されたカバー板16によって、枠体3の底面に設けられた水平板4の奥側の端部が下方から支持されているので、洗面台ユニット1の幅を狭くすることなく洗面台ユニット1をカバー板16によって支持できるとともにこのカバー板16によって洗面ボール11に接続される配管17を洗面台ユニット1の正面側から見て隠すことができる。

【選択図】 図3



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

洗面ボールが設置される洗面台ユニットを支持する洗面台ユニットの支持構造において

、

前記洗面台ユニットは、枠状に形成されて前記洗面ボールが設置される枠体と、この枠体の底面であつ当該枠体の奥行き方向の前側略半分に設けられた水平板とを備え、

前記枠体が前記壁に固定され、

前記枠体の下方の床に立設されたカバー板によって、前記水平板の奥側の端部が下方から支持されるとともに、前記洗面ボールに接続される配管が前記洗面台ユニットの正面側から見て隠されていることを特徴とする洗面台ユニットの支持構造。

10

【請求項 2】

請求項 1 に記載の洗面台ユニットの支持構造において、

現場で造られた造作ユニットが前記壁に前記洗面台ユニットに隣接して固定されるとともに前記洗面台ユニットに連結されていることを特徴とする洗面台ユニットの支持構造。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の洗面台ユニットの支持構造において、

前記枠体の側面に、受材が取り付けられており、

この受材に前記造作ユニットの端部が固定されていることを特徴とする洗面台ユニットの支持構造。

20

【請求項 4】

請求項 1 に記載の洗面台ユニットの支持構造において、

予め作製された補助ユニットが前記壁に前記洗面台ユニットと所定の間隔をもって固定されるとともに前記洗面台ユニットに連結材によって連結されていることを特徴とする洗面台ユニットの支持構造。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の洗面台ユニットの支持構造において、

前記枠体と前記補助ユニットの互い対向する側面に、それぞれ受材が取り付けられており、この受材に前記連結材の両端部がそれぞれ固定されていることを特徴とする洗面台ユニットの支持構造。

30

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、洗面台ユニットの支持構造に関する。

【背景技術】

【0002】

洗面台のカウンタの支持構造の一例として特許文献 1 に記載のものが知られている。このカウンタの支持構造は、少なくともカウンタの左右いずれか一方側を、当該カウンタの端縁部に隣接して配置した取付具又は当該端縁部の上方に配置した取付具によって床面上に支持するための構造であって、前記取付具は、前記カウンタより上方に配置され且つ壁面に固定される縦フレーム部と、前記カウンタの端縁部を支持する横フレーム部とを有し、前記縦フレーム部及び横フレーム部によって間仕切り部材が支持されることを特徴としている。

40

このようなカウンタの支持構造によれば、カウンタの端縁部に隣接させた取付具又は当該端縁部の上方に配置した取付具における縦フレーム部を、カウンタよりも上方で壁面へ固定すると同時に、横フレーム部でカウンタ端縁部を床面上に支持するから、カウンタと床面との間に、障害物の無い空間を形成することが可能である。また、取付具で間仕切り部材を支持するから、当該取付具をカウンタの上部空間の間仕切り部材として機能させることが出来る。従って、本発明を利用してカウンタを施工すれば、観察者に対し、取付具は間仕切りとしての外観を呈することになり、取付具として意識させるとがなくなるので、美観性が向上する。

50

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献1】特開2007-44200号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

ところで、上記従来の洗面台のカウンタの支持構造では、カウンタの側部を枠体構造を有する取付具によって支持しているため、枠体の厚さの分だけ、カウンタの幅、つまり洗面台の幅が小さくなってしまふ。

10

また、洗面台と床面との間に、障害物の無い空間を形成することが可能であるが、その反面、洗面ボール等に接続される配管が洗面台の正面から見えてしまい、意匠上あまり好ましくないとい問題もある。

【0005】

本発明は上記事情に鑑みてなされたもので、洗面台を支持する部材によって洗面台の幅を小さくすることなく、かつ、洗面ボールに接続する配管を洗面台の正面から見えないように隠すことができる洗面台ユニットの支持構造を提供することを課題としている。

【課題を解決するための手段】

【0006】

上記課題を解決するために、請求項1に記載の発明は、例えば図1～図9に示すように、洗面ボール11が設置される洗面台ユニット1を支持する洗面台ユニットの支持構造において、

20

前記洗面台ユニット1は、枠状に形成されて前記洗面ボール11が設置される枠体3と、この枠体3の底面であつ当該枠体3の奥行き方向の前側略半分に設けられた水平板4とを備え、

前記枠体3が前記壁10に固定され、

前記枠体3の下方の床15に立設されたカバー板16によって、前記水平板4の奥側の端部が下方から支持されるとともに、前記洗面ボール11に接続される配管17が前記洗面台ユニット1の正面側から見て隠されていることを特徴とする。

【0007】

30

請求項1に記載の発明によれば、洗面台ユニット1を構成する枠体3が壁10に固定され、床15に立設されたカバー板16によって、枠体3の底面に設けられた水平板4の奥側の端部が下方から支持されているので、洗面台ユニット1の幅を狭くすることなく洗面台ユニット1をカバー板16によって支持できるとともにこのカバー板16によって洗面ボール11に接続される配管17を洗面台ユニット1の正面側から見て隠すことができる。

また、水平板4が筋交いの役目を果たすので、枠体3を補強できる。さらに、水平板4の奥側の端部がカバー板16によって支持されているので、この水平板4の下方に車椅子等が入れる空間を確保できる。

【0008】

40

請求項2に記載の発明は、請求項1に記載の洗面台ユニットの支持構造において、

現場で造られた造作ユニット2が前記壁10に前記洗面台ユニット1に隣接して固定されるとともに前記洗面台ユニット1に連結されていることを特徴とする。

【0009】

請求項2に記載の発明によれば、現場で造られた造作ユニット2が壁に洗面台ユニット1に隣接して固定されるとともに前記洗面台ユニット1に連結されているので、造作ユニット2によって洗面台の左右の幅を広げることができる。

【0010】

請求項3に記載の発明は、請求項2に記載の洗面台ユニットの支持構造において、

前記枠体3の側面に、受材8が取り付けられており、

50

この受材 8 に前記造作ユニット 2 の端部（例えば前板 2 2 a の端部）が固定されていることを特徴とする。

【0011】

請求項 3 に記載の発明によれば、枠体 3 の側面に取り付けられた受材 8 に、造作ユニット 2 の端部が固定されているので、造作ユニット 2 を洗面台ユニット 1 に容易に連結できる。

【0012】

請求項 4 に記載の発明は、例えば図 10～図 14 に示すように、請求項 1 に記載の洗面台ユニットの支持構造において、

予め作製された補助ユニット（例えば引出ユニット）30 が前記壁 10 に前記洗面台ユニット 1 と所定の間隔をもって固定されるとともに前記洗面台ユニット 1 に連結材（例えば造作前板）43 によって連結されていることを特徴とする。

【0013】

請求項 4 に記載の発明によれば、補助ユニット 30 が壁 10 に洗面台ユニット 1 と所定の間隔をもって固定されるとともに前記洗面台ユニット 1 に連結材 43 によって連結されているので、補助ユニット 30 によって洗面台の左右の幅を広げることができる。

【0014】

請求項 5 に記載の発明は、請求項 4 に記載の洗面台ユニットの支持構造において、

前記枠体 3 と前記補助ユニット 30 の互い対向する側面に、それぞれ受材 8, 42 が取り付けられており、この受材 8, 42 に前記連結材 43 の両端部がそれぞれ固定されていることを特徴とする。

【0015】

請求項 5 に記載の発明によれば、枠体 3 と補助ユニット 30 の互い対向する側面にそれぞれ取り付けられた受材 8, 42 に、連結材 43 の両端部がそれぞれ固定されているので、補助ユニット 30 を連結材 43 を介して洗面台ユニット 1 に容易に連結できる。

【発明の効果】

【0016】

本発明によれば、洗面台ユニットを構成する枠体が壁に固定され、床に立設されたカバー板によって、枠体の底面に設けられた水平板の奥側の端部が下方から支持されているので、洗面台ユニットの幅を狭くすることなく洗面台ユニットをカバー板によって支持できるとともに、このカバー板によって洗面ボール等に接続される配管を正面側から隠すことができる。

また、水平板が筋交いの役目を果たすので、枠体を補強できる。さらに、水平板の奥側の端部がカバー板によって支持されているので、この水平板の下方に車椅子等が入れる空間を確保できる。

【図面の簡単な説明】

【0017】

【図 1】本発明に係る洗面台ユニットの支持構造の一例を示すもので、その正面図である。

【図 2】同、平面図である。

【図 3】同、図 1 における A-A 線断面図である。

【図 4】同、洗面台ユニットと造作ユニットの枠構造を示す斜視図である。

【図 5】同、壁に洗面台ユニットの枠体を固定した状態を示す斜視図である。

【図 6】同、造作ユニットを作製している状態を示す斜視図である。

【図 7】同、化粧幕板を取り付けている状態を示す斜視図である。

【図 8】同、カウンタを設置している状態を示す斜視図である。

【図 9】同、カバー板を取り付けている状態を示す斜視図である。

【図 10】本発明に係る洗面台ユニットの支持構造の他の例を示すもので、洗面台ユニットと引出ユニットの枠構造を示す斜視図である。

【図 11】同、壁に洗面台ユニットの枠体を固定した状態を示す斜視図である。

10

20

30

40

50

【図 1 2】同、壁に引出ユニットを固定した状態を示す斜視図である。

【図 1 3】同、化粧幕板を取り付けている状態を示す斜視図である。

【図 1 4】同、カウンタを設置している状態を示す斜視図である。

【発明を実施するための形態】

【0018】

以下、図面を参照して本発明の実施の形態について説明する。

(第 1 の実施の形態)

図 1～図 3 は、本発明に係る洗面台ユニットの支持構造の一例を示すもので、図 1 は正面図、図 2 は平面図、図 3 は図 1 における A-A 線断面図である。

これらの図において、符号 1 は洗面台ユニット、符号 2 は造作ユニットを示す。

洗面台ユニット 1 は、図 4 に示すように、矩形枠状に形成された枠体 3 と、この枠体 3 の底面に設けられた水平板 4 とを有している。

枠体 3 の内部には仕切板 5 が枠体 3 の左右の側板 3 a, 3 a と平行に、かつ右の側板 3 a 側に寄せて設けられている。また、枠体 3 の右端部にはカウンタ受板 6 が枠体 3 の上面と面一に設けられている。さらに、枠体 3 の左の側板 3 a の表面には前後に離間して受金具 7, 7 が取り付けられ、仕切板 5 の表面にも前後に離間して受金具 7, 7 が取り付けられている。

【0019】

さらに、枠体 3 の左側面、すなわち左側の側板 3 a の表面には受材 8 が取り付けられている。この受材 8 は角材によって構成されており、その高さは枠体 3 の高さと同様になっている。また、受材 8 は、枠体 3 の左側面のうちの前側の部位に左側の側板 3 a の前端から所定の長さだけ奥側に配置されている。なお、この所定の長さは、造作ユニット 2 の後述する前板 2 2 a の厚さに相当する。

前記水平板 4 は枠体 3 の底面であって当該枠体 3 の奥行き方向の前側略半分に設けられ、かつ左右の長さは左の側板 3 a と仕切板 5 との間の距離と同様になっている。そして、水平板 4 の左右の端面は左の側板 3 a と仕切板 5 とにそれぞれ当接固定されている。また、水平板 4 の下面は枠体 3 の底面と面一になっている。

【0020】

前記枠体 3 の左の側板 3 a、仕切板 5、前板 3 b、背板 3 c によって囲まれた部分に、洗面ボール 1 1 (図 1～図 3 参照) が設置されており、この洗面ボール 1 1 は前記受金具 7 に下方からネジを挿入し、洗面ボール 1 1 に形成されたネジ孔に螺合することによって、枠体 3 に固定されている。また、枠体 3 の前板 3 b には、図 1 および図 3 に示すように、化粧幕板 1 2 が取り付けられている。この化粧幕板 1 2 は造作ユニット 2 の前板 2 2 a まで延びる長尺なものであり、当該化粧幕板 1 2 はこの前板 2 2 a にも取付けられている。

さらに、枠体 3 の上面には、洗面ボール 1 1 に隣接してカウンタ 1 3 が設置されている。このカウンタ 1 3 の一部は前記カウンタ受板 6 に当接しており、このカウンタ受板 6 の下方から当該カウンタ受板 6 を通してビスをカウンタ 1 3 にねじ込むことによって、当該カウンタ 1 3 は枠体 3 に固定されている。

【0021】

上記のような構成の洗面台ユニット 1 は、図 2 および図 5 に示すように、平面視コ字形の壁 1 0 に固定されている。

すなわち、壁 1 0 は左右の側壁 1 0 a, 1 0 a と、この側壁 1 0 a, 1 0 a の奥側に設けられた正面壁 1 0 b とから構成されており、右の側壁 1 0 a と正面壁 1 0 b にそれぞれ洗面台ユニット 1 の右側の側板 3 a と背板 3 c が当接され、ビスによって固定されている。これによって、洗面台ユニット 1 は壁 1 0 に水平に固定されている。

また、図 1 および図 3 に示すように、枠体 3 の水平板 4 の下方の床 1 5 には、カバー板 1 6 が立設されている。このカバー板 1 6 は洗面ボール 1 1 等に接続される配管 1 7 を洗面台ユニット 1 の正面側から見て隠すものであり、前記水平板 4 の左右の長さと同様等しい長さを有し、高さは床 1 5 から水平板 4 までの高さと同様になっている。

この水平板 4 の奥側の端部下面にカバー板 1 6 の上端部が固定され、これによって水平板 4 の奥側の端部がカバー板 1 6 によって下方から支持されている。

【0022】

上記のような洗面台ユニット 1 に隣接して造作ユニット 2 が壁 1 0 に固定されるとともに、洗面台ユニット 1 に連結されている。

造作ユニット 2 は、現場で造られるものであり、図 4 に示すように、側板部 2 1 と前板部 2 2 と、カウンタ受材 2 3 とによって平面視コ字形に形成されたコ字形枠 2 0 を有している。

側板部 2 1 は帯板状の側板 2 1 a と、この側板 2 1 a の裏面に固定された角材状の受材 2 1 b とから構成されており、受材 2 1 b の前端部は側板 2 1 a の前端面より所定寸法だけ奥側に位置している。

前板部 2 2 は帯板状の前板 2 2 a と、この前板 2 2 a の裏面に固定された角材状の受材 2 2 b とから構成されており、受材 2 2 b の両端部は前板 2 2 a の両端面より所定寸法だけ内側に位置している。

カウンタ受材 2 3 は角材によって形成されており、その両端面はそれぞれ前記受材 2 1 b の端部と前記洗面台ユニット 1 の左側の側板 3 a の端部に当接されている。

【0023】

このような構成の造作ユニット 2 を現場で壁 1 0 に固定するとともに洗面台ユニット 1 に連結するには、まず、図 5 に示すように、前記洗面台ユニット 1 を構成する枠体 3 を、その右側の側板 3 a を右の側壁 1 0 a に当接するとともに、背板 3 c を正面壁 1 0 b に当接したうえで、これら側板 3 a および背板 3 c を通してビスを側壁 1 0 a および正面壁 1 0 b にねじ込むことによって行う。これによって、枠体 3 を水平に壁 1 0 に固定する。

【0024】

次に、コ字形枠 2 0 を構成する側板部 2 1 を前記洗面台ユニット 1 の枠体 3 と同じ高さで左の側壁 1 0 a に沿って配置するとともに、側板 2 1 a を当該側壁 1 0 a に当接したうえで、ビス B を側板部 2 1 を通して側壁 1 0 a にねじ込むことによって固定する。

次に、図 6 に示すように、カウンタ受材用の角材 K 1 を現場でカットしてカウンタ受材 2 3 を作製し、このカウンタ受材 2 3 を側板部 2 1 の受材 2 1 b の端部と枠体 3 の左側の側板 3 a との間に配置するとともに、カウンタ受材 2 3 の両端面をそれぞれ受材 2 1 b と側板 3 a に当接し、さらに当該カウンタ受材 2 3 を正面壁 1 0 b に当接したうえで、カウンタ受材 2 3 を通してビス B を正面壁 1 0 b にねじ込む。これによって、カウンタ受材 2 3 を正面壁 1 0 b に固定する。

【0025】

次に、前板部 2 2 用の材料 K 2 を現場でカットして前板部 2 2 を作製し、この前板部 2 2 を側板部 2 1 の受材 2 1 b の端部と枠体 3 の左側の側板 3 a との間に配置するとともに、前板 2 2 a の左端部を前記受材 2 1 b の前端面に当接するとともに、前板 2 2 a の右端部を前記側板 3 a に取り付けられている受材 8 に当接したうえで、前板 2 2 a を通してビス B を受材 2 1 b , 8 にねじ込むことによって、前板部 2 2 を側板部 2 1 に固定するとともに、前記側板 3 a に固定する。これによって、造作ユニット 2 を構成するコ字形枠 2 0 を、洗面台ユニット 1 を構成する枠体 3 に連結する。

【0026】

次に、図 7 に示すように、枠体 3 の前板 3 b と造作ユニット 2 の前板 2 2 a に、化粧幕板 1 2 を取り付ける。この場合、ビス B を前板 3 b および前板 2 2 a の裏側からこれらを通して化粧幕板 1 2 にねじ込むことによって、化粧幕板 1 2 を取り付ける。

次に、図 8 に示すように、カウンタ 1 3 を枠体 3 の右側の上面に設置したうえで、カウンタ受板 6 の下方から当該カウンタ受板 6 を通してビス B をカウンタ 1 3 にねじ込むことによって、当該カウンタ 1 3 を枠体 3 に固定する。

また、カウンタ 2 5 をコ字形枠 2 0 の上面と枠体 3 の左の側板 3 a の上面に設置したうえで、カウンタ受材 2 3 、受材 2 1 b , 2 2 b の下方からこれらを通してビス B をカウンタ 2 5 にねじ込むことによって、当該カウンタ 2 5 をコ字形枠 2 0 に固定する。

【0027】

次に、図9に示すように、カバー板16を枠体3の水平板4の下方の床15に立設するとともに、このカバー板16の上端部を水平板4の奥側の端部下面に固定し、これによって、水平板4の奥側の端部をカバー板16によって下方から支持する。

カバー板16を床15に固定する場合、カバー板16の下端部裏面にL形の金具26をビスによって固定したうえで、この金具26を床にビスによって固定することにより行う。また、カバー板16を水平板4に固定する場合、カバー板16の上端部裏面にL形の金具26をビスによって固定したうえで、この金具26を水平板4にビスによって固定することにより行う。

次に、図1～図3に示すように、枠体3の左の側板3a、仕切板5、前板3b、背板3cによって囲まれた部分に、洗面ボール11を設置したうえで、前記受金具7に下方からネジを挿入し、洗面ボール11に形成されたネジ孔に螺合することによって、当該洗面ボール11を枠体3に固定する。

その後、図1および図3に示すように、洗面ボール11に配管17を接続し、さらに、水平板4の下面にタオル掛け27を取り付けて、施工を終了する。

【0028】

また、前記洗面台ユニット1の上方には、ミラー付き収納キャビネット50が壁10に固定されて設けられている。

このミラー付き収納キャビネット50は、基本収納キャビネット51とオプション収納キャビネット52とから構成されている。

基本収納キャビネット51は、横方向に3個連設されたキャビネット51a、51b、51aと、それぞれのキャビネット51a、51b、51aの前面開口部に、それぞれ左右一方の縦縁部を軸として開閉可能に取り付けられて、当該前面開口部を開閉するミラー板51c、51d、51cとを備えている。また、キャビネット51a、51b、51aには、それぞれ収納棚54が上下に複数段取り付けられ、中央のキャビネット51bにはその下部に照明55が取り付けられ、この照明55の下方は開口している。

このような基本収納キャビネット51は、右側の側壁10aに当接しており、正面壁10bに固定されている。

【0029】

前記オプション収納キャビネット52は、顧客の要望によって取り付けられるものであり、その左右の幅は基本収納キャビネット51より狭くなっている。オプション収納キャビネット52は、1個のキャビネット52aと当該キャビネット52aの前面開口部に、左右一方の縦縁部を軸として開閉可能に取り付けられて、当該前面開口部を開閉するミラー板51bとを備えている。また、キャビネット52aには、それぞれ収納棚54が上下に複数段取り付けられている。

このようなオプション収納キャビネット52は、左側の側壁10aと基本収納キャビネット52の左側面に当接しており、正面壁10bに固定されている。また、オプション収納キャビネット52を取り付ける場合、ミラー板51bを取り付けない選択もある。

また、ミラー付き収納キャビネット50と洗面台ユニット1との間に位置する正面壁10bにはミラー板が取り付けられている。

なお、造作ユニット2の下側には、ワゴン収納56が出し入れ可能に設けられている。

【0030】

本実施の形態によれば、洗面台ユニット1を構成する枠体3が壁10に固定され、床15に立設されたカバー板16によって、枠体3の底面に設けられた水平板4の奥側の端部が下方から支持されているので、洗面台ユニット1の幅を狭くすることなく洗面台ユニット1をカバー板16によって支持できるとともに、このカバー板16によって洗面ボール11に接続される配管17を正面側から見て隠すことができる。

また、水平板4が筋交いの役目を果たすので、枠体3を補強できる。さらに、水平板4の奥側の端部がカバー板16によって支持されているので、この水平板4の下方に車椅子等が入れる空間を確保できる。

10

20

30

40

50

さらに、現場で造られた造作ユニット 2 が壁 10 に洗面台ユニット 1 に隣接して固定されるとともに洗面台ユニット 1 に連結されているので、造作ユニット 2 によって洗面台の左右の幅を広げることができる。

加えて、枠体 3 の側面、すなわち側板 3 a の表面に、受材 8 が取り付けられており、この受材 8 に造作ユニット 2 の前板 2 2 a の端部が固定されているので、造作ユニット 2 を洗面台ユニット 1 に容易に連結できる。

また、カバー板 1 6 と正面壁 1 0 b との間に所定の隙間が設けられているので、この隙間から配管 1 7 の状態を確認できるとともに、配管 1 7 に付着した湿気を素早く乾かすことができる。

さらに、洗面台ユニット 1 の上方に、基本収納キャビネット 5 1 とオプション収納キャビネット 5 2 とから構成されるミラー付き収納キャビネット 5 0 を設けたので、オプション収納キャビネット 5 2 の取り付けを選択することができ、これによって、好みのデザインに仕上げるることができる。

【0031】

(第 2 の実施の形態)

図 10～図 14 は本発明の第 2 の実施の形態を示すものである。この第 2 の実施の形態が前記第 1 の実施の形態と異なる点は、造作ユニット 2 に代えて引出ユニット (補助ユニット) 30 を設けた点であるので、以下ではこの点について詳しく説明し、第 1 の実施の形態と共通部分には同一符号を付してその説明を省略ないし簡略化する。

【0032】

図 10 に示すように、引出ユニット (補助ユニット) 30 は、工場等で予め作製されるものであり、左右の側板 3 1, 3 1 と、当該側板 3 1, 3 1 の後端部間に設けられた背板 3 2 と、側板 3 1, 3 1 の下縁部間に設けられた底板 3 3 と、側板 3 1, 3 1 の上縁部間に設けられた 3 枚の上板 3 4 とからなる枠体 3 5 を有し、さらに、この枠体 3 5 に挿入される引出し 3 6 を備えている。引出し 3 6 は枠体 3 5 の前面開口から側板 3 1, 3 1、背板 3 2、底板 3 3、上板 3 4 によって囲まれた空間に出し入れ可能に挿入されている。また、枠体 3 5 の右側面、すなわち右の側板 3 1 の表面には、受材 4 2 が取り付けられている。この受材 4 2 は角材によって構成されており、その高さは枠体 3 5 の高さと同しくなっている。また、受材 4 2 は、枠体 3 5 の右側面のうちの前側の部位に、側板 3 1 の前端から所定の長さだけ奥側に配置されている。なお、この所定の長さは、後述する造作前板 4 3 の厚さに相当する。

また、引出ユニット (補助ユニット) 30 は、枠体 3 5 の上面に設置されるカウンタ 2 5 を有している。

【0033】

上記のような引出ユニット (補助ユニット) 30 は、前記壁 10 に前記洗面台ユニット 1 と左右に所定の間隔をもって固定されている。

引出ユニット (補助ユニット) 30 を壁 10 に固定する場合、図 11 に示すように、化粧側板 40 を左の側壁 10 a にビス B によって固定する。この場合、化粧側板 40 の上面と前記枠体 3 の上面とが同じ高さになるようにして化粧側板 40 を固定する。

次に、図 12 に示すように、引出し 3 6 を取り外した状態で枠体 3 5 を化粧側板 40 と枠体 3 との間に挿入し、当該枠体 3 5 の左の側板 3 1 を化粧側板 40 に当接してビスによって固定するとともに、背板 3 2 を正面壁 10 b に当接してビスによって固定する。

【0034】

次に、図 12 に示すように、カウンタ受材用の角材 K 3 を現場でカットしてカウンタ受材 41 を作製し、このカウンタ受材 41 を右の側板 3 1 の端部と枠体 3 の左側の側板 3 a との間に配置するとともに、カウンタ受材 41 の両端面をそれぞれ側板 3 1 と側板 3 a に当接し、さらに当該カウンタ受材 41 を正面壁 10 b に当接したうえで、カウンタ受材 41 をビス B によって正面壁 10 b に固定する。

次に、造作前板用の板材 K 4 を現場でカットして造作前板 43 を作製し、枠体 3 5 と枠体 3 の間に、当該造作前板 (連結材) 43 を枠体 3 の前板 3 b と面一になるように配置し

10

20

30

40

50

、この造作前板 4 3 の両端部を前記受材 4 2 , 8 に当接して、この受材 4 2 , 8 にそれぞれビスによって固定する。これによって、引出ユニット（補助ユニット）3 0 の枠体 3 5 を洗面台ユニット 1 の枠体 3 に造作前板（連結材）4 3 によって連結する。

【0035】

次に、図 1 3 に示すように、枠体 3 5 に引出し 3 6 を挿入したうえで、前記造作前板 4 3 と前板 3 b に化粧幕板 4 4 を取り付ける。この場合、ビス B を前板 3 b および造作前板 4 3 の裏側からこれらを通して化粧幕板 4 4 にねじ込むことによって、化粧幕板 4 4 を取り付ける。

次に、図 1 4 に示すように、カウンタ 1 3 を枠体 3 の右側の上面に設置したうえで枠体 3 に固定するとともに、カウンタ 2 5 を枠体 3 5 、造作前板 4 3 、カウンタ受材 4 1 に設置したうえで、上板 3 4 の下方からこれらを通してビス B をカウンタ 2 5 にねじ込むことによって、当該カウンタ 2 5 を枠体 3 5 に固定する。

【0036】

次に、図示は省略するが、図 9 に示すものと同様に、カバー板 1 6 を枠体 3 の水平板 4 の下方の床 1 5 に立設するとともに、このカバー板 1 6 の上端部を水平板 4 の奥側の端部下面に固定し、これによって、これによって水平板 4 の奥側の端部をカバー板 1 6 によって下方から支持する。

次に、枠体 3 の左の側板 3 a 、仕切板 5 、前板 3 b 、背板 3 c によって囲まれた部分に、洗面ボール 1 1 を設置したうえで枠体 3 に固定し、その後、洗面ボール 1 1 に配管 1 7 を接続し、さらに、水平板 4 の下面にタオル掛け 2 7 を取り付けて、施工を終了する。

【0037】

本実施の形態によれば、第 1 の実施の形態と同様に、洗面台ユニット 1 をカバー板 1 6 によって支持できるとともに、このカバー板 1 6 によって洗面ボール 1 1 に接続される配管 1 7 を正面側から隠すことができる。

また、水平板 4 が筋交いの役目を果たすので、枠体 3 を補強できる。さらに、水平板 4 の奥側の端部がカバー板 1 6 によって支持されているので、この水平板 4 の下方に車椅子等が入れる空間を確保できる。

また、引出ユニット（補助ユニット）3 0 が壁 1 0 に洗面台ユニット 1 と所定の間隔をもって固定されるとともに洗面台ユニット 1 に連結材（造作前板）4 3 によって連結されているので、引出ユニット（補助ユニット）3 0 によって洗面台の左右の幅を広げることができる。

さらに、洗面台ユニット 1 の枠体 3 と引出ユニット（補助ユニット）3 0 の互い対向する側面にそれぞれ取り付けられた受材 8 , 4 2 に、（造作前板）4 3 の両端部がそれぞれ固定されているので、引出ユニット（補助ユニット）3 0 を連結材 4 3 を介して洗面台ユニット 1 に容易に連結できる。

【0038】

なお、上記 2 つの実施の形態では、カバー板 1 6 を平板によって形成したが、カバー板 1 6 は、例えば平面視略コ字状のものや円弧状の板で形成してもよい。ただし、カバー板と正面壁 1 0 b との間には所定の隙間を設けるものとする。

また、上記の 2 つの実施の形態において、洗面台ユニット 1 、造作ユニット 2 、引出ユニット 3 0 は、躯体すなわち壁 1 0 に固定されているが、これらの床面からの高さは、使用者の身体状況に合わせて、適宜設定される。すなわち、高さ対応が可能となっている。例えば、基本仕様としては、高さ H は 8 0 0 mm 、車椅子使用者の場合、高さ H は 7 8 0 mm 、背の高い者の場合、高さ H は 8 5 0 mm に設定される。

【符号の説明】

【0039】

- 1 洗面台ユニット
- 2 造作ユニット
- 3 枠体
- 4 水平板

10

20

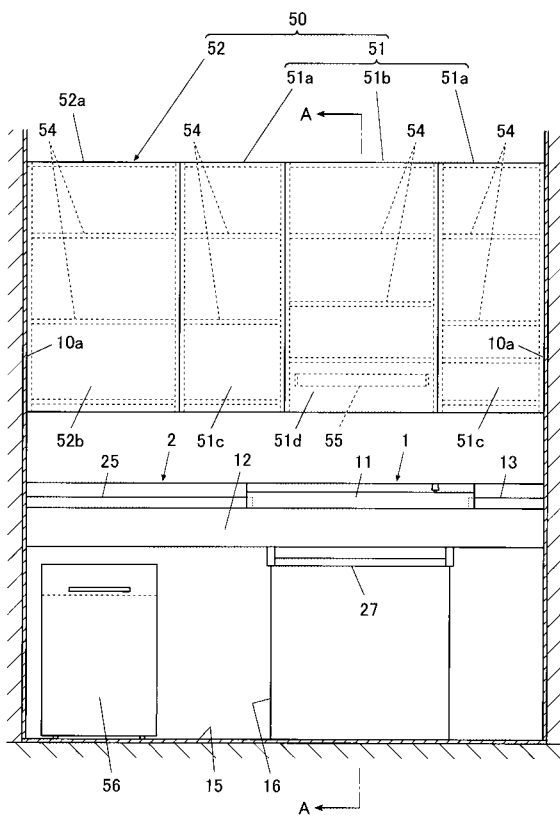
30

40

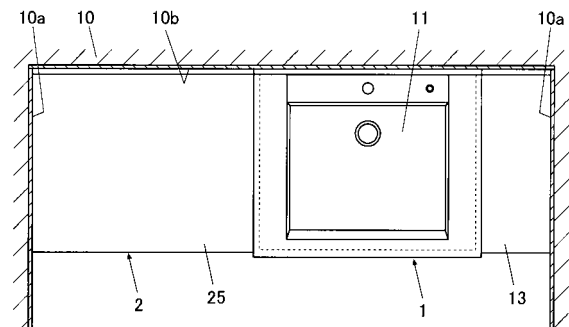
50

- 8 受材
- 10 壁
- 11 洗面ボール
- 15 床
- 16 カバー板
- 17 配管
- 30 引出ユニット（補助ユニット）
- 42 受材
- 43 造作前板（連結材）

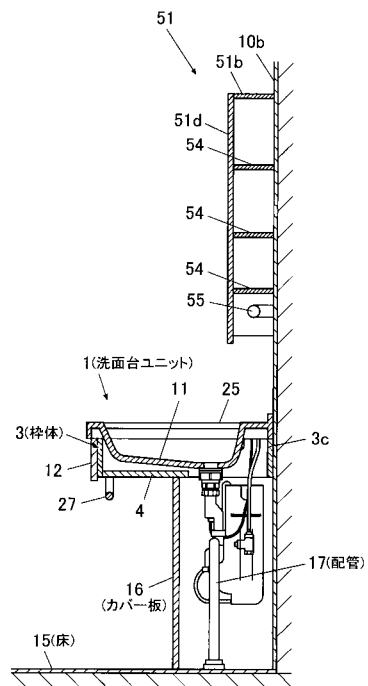
【図 1】



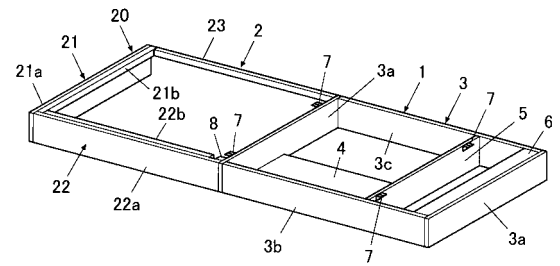
【図 2】



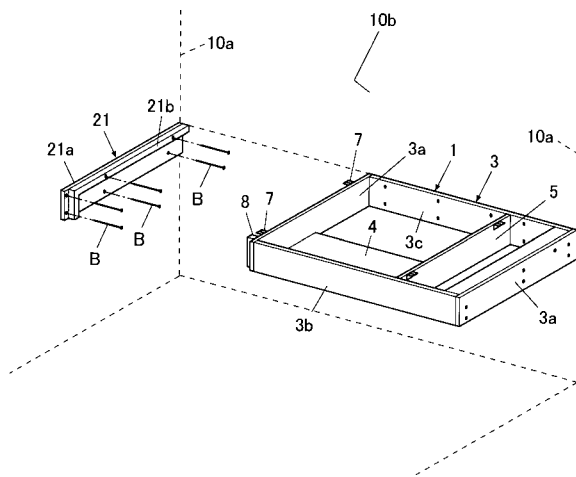
【図 3】



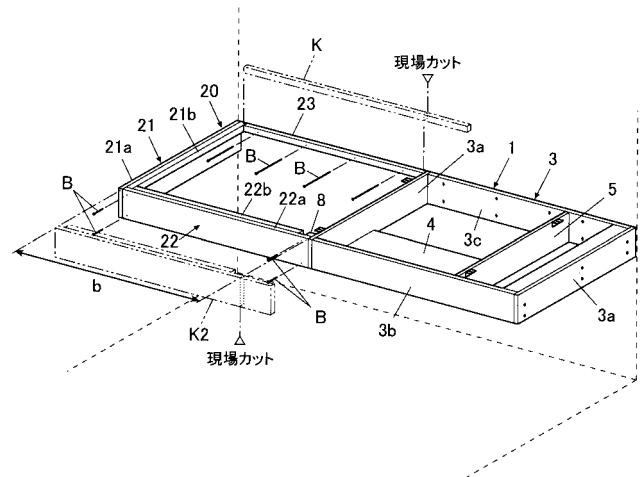
【図 4】



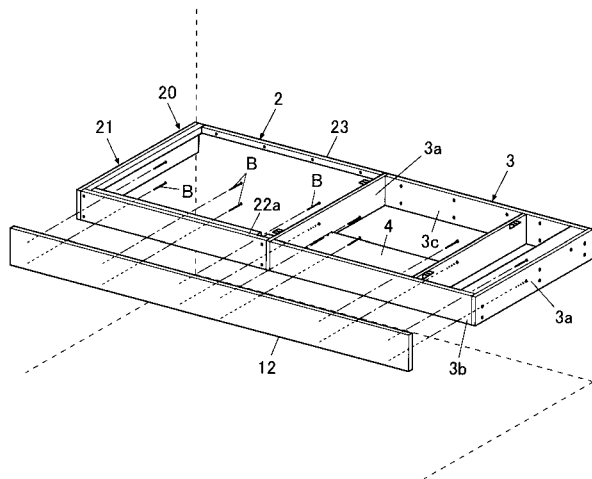
【図 5】



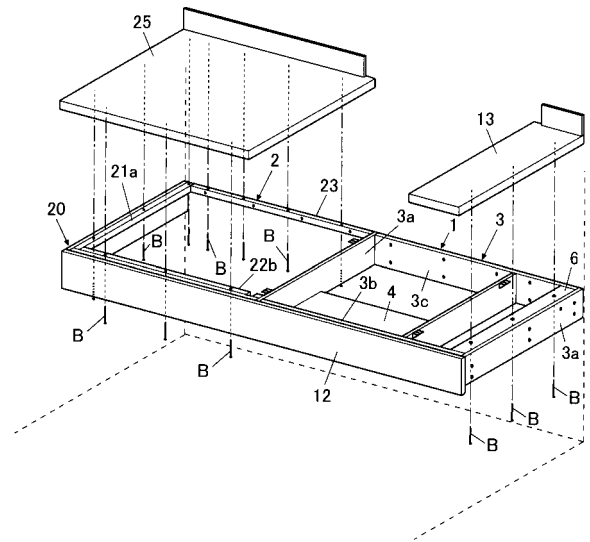
【図 6】



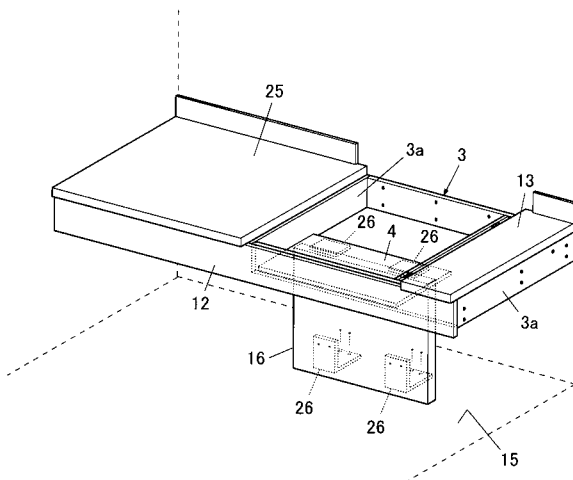
【図 7】



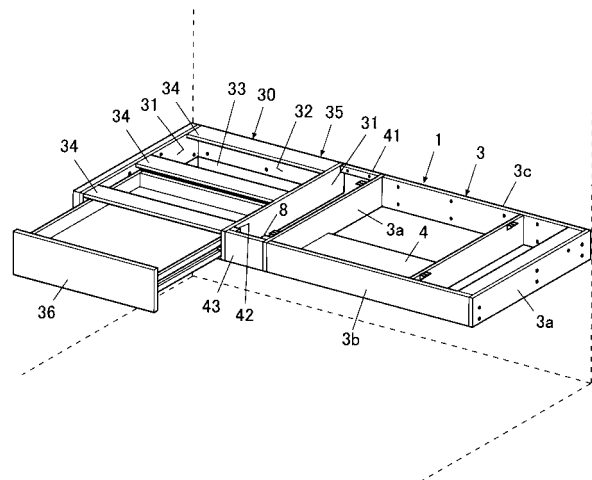
【図 8】



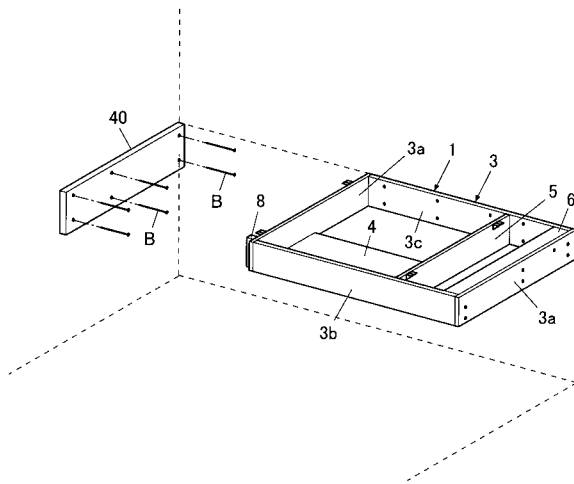
【図 9】



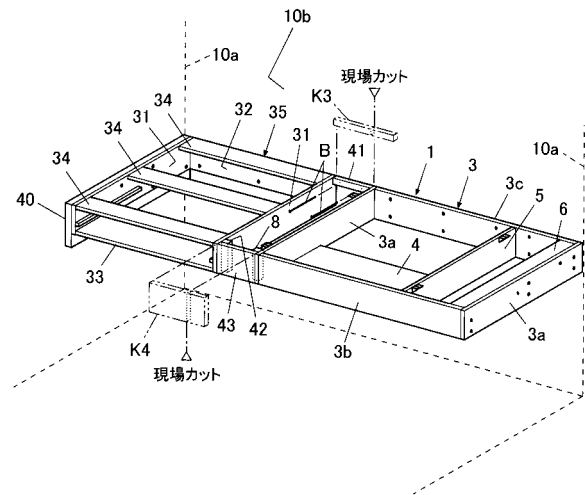
【図 10】



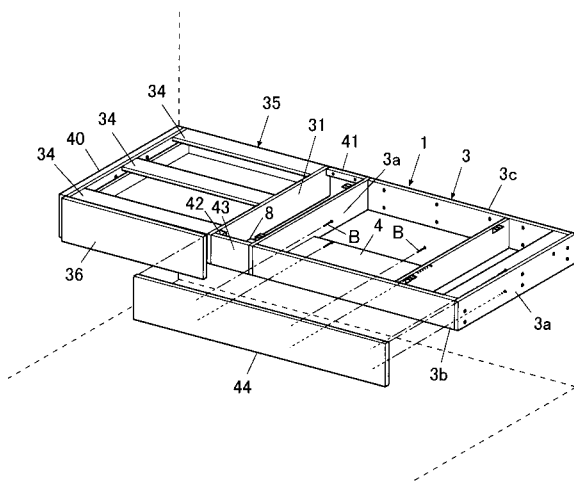
【図 1 1】



【図 1 2】



【図 1 3】



【図 1 4】

